産経新聞
令和３年(2021) 日刊28150号
6|3[木]
産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN
発行所 ©産業経済新聞大阪本社 2021
〒556-8660 大阪市浪速区湊町2-1-47
電話 (06)6633-1221(大代表)

地域ニュース

コロナ給付金で出版社起業

高松の作家、地元文化貢献めざす

「1億円納税してお返し」

10万円の特別定額給付金で出版社を設立した佐々木良社長＝高松市

新型コロナウイルス感染症対策の特別定額給付金を基本に、出版社を立ち上げ執筆していた作家の経験から、地元文化に貢献したいと考えていたノンフィクション作家、佐々木良さん(38)＝高松市。今の目標は、「1億円を納税して、恩返しすること」だ。

令和2年4月、高松市に出版社「万葉社」を設立した佐々木さん。オフィスは作家の処女作の舞台となった旧松子の自宅跡地に近い場所と決めた。「思い入れのある場所に」と、運転資金は公益財団法人「かがわ産業支援財団」の「起業等ステージアップ支援助成金」や、日本政策金融公庫からの融資を受けた。

高校生で自宅が火事になり、佐々木さんは近所の書店や図書館に通い詰めた。「10万円あれば会社が作れる、夢をかなえるチャンスがあることを、若い人に伝えたかった」

出版社「万葉社」を設立した佐々木さん。オフィスは作家の処女作の舞台となった旧松子の自宅跡地に近い場所と決めた。「思い入れのある場所に」と、運転資金は公益財団法人「かがわ産業支援財団」の「起業等ステージアップ支援助成金」や、日本政策金融公庫からの融資を受けた。

高校生で自宅が火事になり、佐々木さんは近所の書店や図書館に通い詰めた。

1980年代、国内最大級の蔵書を誇る公共図書館「香川県立図書館」(高松市)を運営する公益財団法人に就職。ミュージアムショップのスタッフとして働いていたが、開館20周年の記念事業が決まった際、企画の一つに選ばれた「県民(回顧十三話)」に関わられる全国初の参画メンバーの一人に選ばれたことが、人生の転機となった。

1980年代、国内最大級の蔵書を誇る公共図書館「香川県立図書館」(高松市)を運営する公益財団法人に就職。ミュージアムショップのスタッフとして働いていたが、開館20周年の記念事業が決まった際、企画の一つに選ばれた「県民(回顧十三話)」に関わられる全国初の参画メンバーの一人に選ばれたことが、人生の転機となった。

「千年たっても読み継がれ、次の時代と新しい時代をつなぐ本を作りたい」と、社名は「万葉社」に。今年3月、初の出版物として元号「令和」の語源となった「梅花の宴」(天平時代の歌人らが梅の花を愛でるために開いた宴)を題材にした解説本「令和万葉集」を発刊した。全ページ2色刷りを使ったこだわりの装丁に、東京の書家が「散るし香き」という手法でことばを書いた。5月には、同社を会社となる「令和元年記」を発刊した、コロナ禍という歴史の転換期を乗り越えるための社会論や考え方、読書の記録に関する提言を集めた。

「千年たっても読み継がれ、次の時代と新しい時代をつなぐ本を作りたい」と、社名は「万葉社」に。今年3月、初の出版物として元号「令和」の語源となった「梅花の宴」(天平時代の歌人らが梅の花を愛でるために開いた宴)を題材にした解説本「令和万葉集」を発刊した。全ページ2色刷りを使ったこだわりの装丁に、東京の書家が「散るし香き」という手法でことばを書いた。5月には、同社を会社となる「令和元年記」を発刊した、コロナ禍という歴史の転換期を乗り越えるための社会論や考え方、読書の記録に関する提言を集めた。

目標の「1億円納税」に向け、ホームページには「株式会社万葉社は、国からの支援したコロナ給付金10万円を1億円の納税として、国に返還することを目標としています」と明記している。目標を達成するまで納税額を公表するとしており、取材時点では「1764万円」。特定給付金の「お返し」まで、残り8236万円からの発信を続けるつもりだ。

令和３年６月３日

産経新聞　19 面（香川）で掲載していただきました。

ありがとうございます。